

西南日本及び東アジアにおける 民俗文化の動態と国民国家の関係に関する研究

民俗文化と国民国家の諸問題研究チーム（課題番号：054006）

研究期間：平成17年4月1日～平成20年3月31日

研究代表者：白川琢磨 研究員：片多 順、宮岡真央子（平成18年4月から加入）

文化人類学が研究対象とする文化（民族文化及び民俗文化）が、非歴史的な静態的表象から成る、人間行動の説明概念であったことに対して1980年代以降、大きな批判が投げかけられ、広く言えば世界中に近代国民国家が成立していくポストコロニアルな歴史過程の中での捉え直し、即ち文化の脱構築・再構築が進められている。こうした問題意識を基礎として本研究チームでは、各自の研究領域の中で、「中範囲の」課題を設定して研究を進めてきた。以下にその概要を記す。

白川琢磨

【研究成果】

日本の宗教文化を対象にする場合、まず問われなければならないのは明治初年に強行された神仏分離の意義である。明らかに「上からの」強制的・作爲的な政策実施でありながらやがては民衆を巻き込む廃仏毀釈運動に展開した。しかし極めて短期であったために、そして何よりもその後の各宗教（宗派）の政治的利害も絡んでこれまでその意義が十分に研究されて来なかった。しかし、これが日本の近代化の一側面として、我々を取り囲む宗教環境を今日見るような形態に一変させたことは明らかである。ではそれ以前の宗教的狀態を操作的に神仏習合と仮定し、北部九州の宗教民俗を実態調査してみると、かなりな事例で今日まで儀礼や伝承など多方面で残存し、同時に新たな生成をも生じて

いることが分かった。しかし、こうした宗教狀態を記述し、考察するためには幾つかの段階が必要である。第一に、日本民俗学がこれまで暗黙に措定していた固有信仰とか民俗宗教といった本質主義的概念を脱構築すること。次に、我々が、近代科学を支える分類概念（単配列分類）を保留し、異質な他者とその世界を捉えるために必要な分類体系（多配列分類）を許容する視点をもつこと。そして第三に、習合狀態を支える歴史的事態的仮説（例えば寺社仮説）に移行することである。こうした段階を経て宗教権力論とも呼ぶべき新たな視座が得られるがその精緻化は今後の課題である。

【研究業績】

白川琢磨：神仏習合と多配列クラス、宗教研究、81巻2輯（353号）、235-258、2007

白川琢磨：宗教民俗の歴史的動態 福岡県二丈町「大飯食らい」を中心に、宗教研究、80巻4輯（351号）、422-423、2007

白川琢磨：鬼の正月 鬼の春、文藝春秋、85巻1月号、8-27、2007

白川琢磨：金毘羅信仰、精選日本民俗辞典（福田アジオ・渡邊欣雄他編）吉川弘文館、210-211、2006

白川琢磨：〈落差〉を解く 豊前神楽をめぐる歴史人類学的一解釈、国立歴史民俗博物館研究報告、132集、209-242、2006

白川琢磨：〈落差〉を解く 豊前神楽を例として、宗教研究、79巻4輯（347号）、1130

1132、2006

白川琢磨：北部九州における宗教民俗の歴史的動態 二丈町淀川「大飯食らい」を中心に、福岡大学研究部論集 A：人文科学編、Vol. 5 No. 6、1 20、2006
N. アバークロンビー / S. ヒル / B. S. ターナー、白川琢磨共訳（丸山哲央監訳）新版：新しい世紀の社会学中辞典、ミネルヴァ書房、9 項目、2005

片多 順

【研究成果】

日本の一部としての南西諸島にあって独自の民俗文化を維持・強化している沖縄をフィールドに、「本土にはなく、沖縄にのみ存在する民俗文化」としての「長寿儀礼」と「模合」に焦点を当てて研究した。長寿儀礼とは数え年で85歳、88歳、97歳に達した健康で長寿の高齢者を回りの人々が喜び祝うもので、沖縄では最も重要な儀礼として毎年各地で盛大に繰り広げられている。一方、模合は小学校の同級生など長い親交をもつ人々が仲間内の会を形成して、定期的に集まって情報を交換し、互いの無事を確かめ合うもので、これも長い歴史を持つ沖縄に独特の民俗事象であり、現代のインターネットの社会にあっても廃れるばかりか、益々盛んになる情報交換と親睦交流の基盤となっている。これらの民俗文化は地域の違いや時代を超えて沖縄の人々に支持され深く浸透しており、沖縄を事例に民俗文化と国民国家の問題を考察する際の重要な指標となるものである。

【研究業績】

片多 順：社会人とは？：大人になることの文化人類学、山崎好祐編「キャリア・プランニング」中央経済社、15 27、2006

宮岡真央子

【研究成果】

先住民なる語には、国民国家成立に先立って居住してきたという含意があり、ゆえに国家との歴史的な相対関係を示す概念である。そしてその歴史・文化は、近代以降、国民国家との関係によって大きく規定されてきた。この問題意識のもと、本研究では台湾阿里山に居住する先住民族ツォウを事例に、民俗文化と国民国家との関わりについて主に二方向からの論考を記した。一つは歴史に関わるもので、日本陸軍の軍人が明治期に阿里山を視察した際にのこした日記と写真の整理・分析をおこない、植民地統治開始期の先住民社会の様相とコラボレーターの役割について考察した。これらはいずれも未公開で、資料的価値も大きいと評価できる。今ひとつは、現在の先住民文化と国家政策や主流社会の言説との関わりについての諸研究である。文化政策・観光振興政策のもとでの新たな儀礼の創出過程とそれをめぐる現地での多様な解釈についての報告・考察、一刑事事件をめぐって展開した伝統的首長の地位と役割についての諸言説についての報告・考察、そして先住民の土地権問題を先住民の土地制度と土地観からとらえ直す必要性を説く研究を著した。以上から、先住民文化が国家政策や主流社会における言説と不可分な関係にあるという具体的諸相、そしてその関係性において先住民自らによる文化の再構築や再解釈が模索されている状況について確認された。さらなる理論的考察が今後の課題である。

【研究業績】

宮岡真央子：先住性のリアリティをめぐる一考察 台湾の先住民族ツォウの土地権を事例に、七隈史学、9号、77 95、2008

宮岡真央子：日常を生きる困難と伝統文化の語り 台湾原住民族ツォウの伝統的首長をめぐる 蜂蜜事件 の事例から、社会人類学年報、

33号、151-170、2007

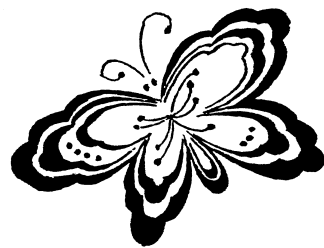
宮岡真央子：早坂徳四郎アルバムのツォウ関係
写真について、高一生（矢多一生）研究、6
号、16-26、2007

宮岡真央子：書評：山路勝彦著『近代日本の海
外学術調査（日本史リブレット64）』、文化人
類学、72巻2号、275-278、2007

宮岡真央子：有縁份（ヨウ ユエンフェン）
台湾原住民研究、11号、258-260、2007

宮岡真央子：1901年、早坂徳四郎日記のタバ
ン・トフヤ旅行記について、高一生（矢多一
生）研究、5号、11-20、2006

宮岡真央子：ツーリズムと文化政策の結節点
台湾原住民族ツォウの文化の産業化に関する
人類学的研究、旅の文化研究所研究報告、15
号、95-106、2006



理論経済学の財政・金融への応用

経済学応用研究チーム（課題番号：054007）

研究期間：平成17年4月1日～平成20年3月31日

研究代表者：黒柳達夫 研究者：松原建彦、小西高弘、田中俊宏、芹澤数雄

【研究成果】

海外進出企業の輸出・ライセンス・海外直接投資間の選択について、以下の7点を指摘することが出来る。また、これまでの研究によると、企業の外国市場への進出形態は、輸出 海外直接投資 国際提携の順に従うという結論が多かったが我々の研究では、必ずしもその様な結論には至らなかった。

- 1．ライセンス（国際提携）契約は、関税率、ロイヤルティ・フィーの水準、ライセンスによる経営資源の優位性の移転の度合い、ライセンサーとしての外国企業の経営資源の限界生産性が十分に高い場合には、輸出よりも選択される。
- 2．逆に、ライセンス契約は、輸出に比較した場合の消散コスト、および、ライセンサーである企業の経営資源蓄積のための限界費用が十分に低い場合に、輸出よりも選択される。
- 3．関税率、輸出に伴う消散コスト、在外子会社の経営資源の限界生産性、為替レートが充分高いときには、輸出よりも直接投資が選考される。
- 4．市場割引率、在外生産にともなう消散コスト、直接投資による経営資源の格差変化率が充分低いときには、輸出よりも直接投資が選考される。
- 5．ライセンスにともなう消散コスト、在外子会社の経営資源の限界生産性、為替レートが充分高いときには、ライセンスよりも直接投資が選考される。
- 6．市場割引率、在外生産に伴う消散コスト、直接投資による経営資源の格差変化率、ロイヤリティ・フィーの水準、ライセンスによって移転される経営資源の優位性が充分低いときには、ライセンスよりも直接投資が選考される。
- 7．直接投資の選考にプラスに働く要因は以下である。
 - a．投資国における市場割引率が低い。
 - b．投資国の為替レートが高い。
 - c．受け入れ国の関税が高い。
 - d．直接投資による経営資源の格差変化が低い。
 - e．在外子会社における経営資源の限界生産性が高い。
 - f．在外子会社の生産に伴う消散コストが低い。
 - g．輸出あるいはライセンスによる消散コストのどちらか一方ないし双方が高い。

【研究業績】

- 1．芹澤数雄『あなたは歌を歌えるか：ケインズの欺瞞』
福岡大学経済学論叢、第51巻第4号、平成19年3月
- 2．芹澤数雄『科学信仰を問う』
福岡大学経済学論叢、第52巻第3・4号、平成20年3月
- 3．松原建彦『19世紀後半のパリにおけるデパート経営』

福岡大学経済学論叢、第52巻第3・4号、平成20年3月

4．小西高弘『中国版総合商社とアジア経済統合』

福岡大学経済学論叢、第50巻第4号、平成18年3月

5．小西高弘『我が思い出の記』

福岡大学経済学論叢、第52巻第3・4号、平成20年3月



その後は、06年12月に安倍内閣の下で「地方分権改革推進法」が制定されて、07年4月に地方分権改革推進委員会（丹羽宇一郎委員長）が発足して残された課題に取り組んでいる。なお、06年2月に地方制度調査会から「道州制のあり方に関する答申」が出されてから、道州制についての議論が盛んになったが、道州制はここで述べた地方分権改革よりもはるかにラディカルなものであって、明治以来のわが国の中央集権的統治機構を根本から変革するものである。

本研究チームでは、政治、法律、財政の担当者からなる学際的な研究組織を構成して、定期的に研究会を開催しながら、国際比較の観点から地方分権についての共同研究を行なった。

政治学の立場からは、明治期の国民主義的ジャーナリスト陸羯南の思想の中に、わが国の地方分権論の源流を見出すことができた。

地方分権で問題となるのが、社会保障サービスを提供する際に中央政府と地方政府がいかに責任分担すべきかということであるが、政治学と財政学の立場から、フランスの福祉国家体制とわが国の社会保障制度改革について論及した。

地方分権を推進するためには地方税を充実させるべきであることは言うまでもない。税法学の立場から、イギリスの税制について研究した。

【研究業績】

Stephanie A. Weston

Stephanie A. Weston: *The Sino-Japanese Struggle for a Constructive Asymmetry in the New Millennium*. 福岡大学法学論叢、5Q(4): 557-600, 2006.

Stephanie A. Weston: *Towards a Constructive Sino-Japanese Relationship in the New Millennium. Current Politics and Economics of Asia*, 15(3): 191-211, 2006.

廣澤孝之

廣澤孝之：フランス第三共和政期における共済組合運動の展開。松山大学論集、17(5): 271-292, 2005。

廣澤孝之、他：かかわりの政治学。法律文化社、103-128, 2005。

廣澤孝之：現代日本政治史。晃洋書房、2005。

廣澤孝之：フランス第三共和政期における「社会」再興論。松山法学、(7): 19-37, 2005。

廣澤孝之：フランス「福祉国家」体制の形成。法律文化社、2005。

廣澤孝之：正統性の危機とフランス「福祉国家」の再編。法政研究（九州大学）71(4): 757-778, 2005。

宮谷俊胤

宮谷俊胤：イギリスにおける弁護士の税務調査。納税者保護と法の支配（山田二郎先生喜寿記念論文集）（石島弘他、編）信山社（東京）579-611, 2007。

宮谷俊胤：イギリス裁判例にみられる税務調査について。税法学、(555): 159-255, 2006。

宮谷俊胤：イギリスにおける法律専門職特権に関する最近の租税判例。税法学、(554): 61-87, 2005。

山本隆基

山本隆基：陸羯南における国民主義の制度構想（七）。福岡大学法学論叢、5X(1): 145-196, 2007。

山本隆基：陸羯南における国民主義の制度構想（六）。福岡大学法学論叢、5Q(3): 363-400, 2005。

山本隆基：陸羯南における国民主義の制度構想（五）。福岡大学法学論叢、5Q(2): 193-234, 2005。

宮本昌典

宮本昌典：社会保障制度の再構築。JAPA九州、(28): 12-14, 2007。

各種光導波路の特性解析と算法の改良

光導波路解析研究チーム（課題番号：055006）
研究期間：平成17年4月1日～平成20年3月31日
研究代表者：岡藤智史 研究員：宮本徳夫、百田美智子

【研究成果】

本研究チームでは、光 IC における重要な素子である各種光導波路についての詳しい解析のための解析法の確立と、各種導波路の詳しい特性の解明を試みてきた。解析法としては、FDTD 法、フーリエ級数展開法などについてほぼ確立できた。そこで、今回の本研究チームのテーマとしてまずフーリエ級数展開法を適用して、詳しい解析が容易でなかった有限長の3次元周期構造光導波路の放射波も含めた基本導波モードの反射電力、透過電力について詳しく解明することにした。

これまでの研究で筆者等は、光 IC への応用によく使われている3次元周期構造光導波路において、屈折率変調型周期導波路に続いて、進行方向に方形溝の Lamellar grating 型周期構造導波路について詳しく解明してきた^{(1),(2)}。しかし、実際の周期構造導波路は製作面からいって方形溝よりむしろ正弦波状に近い場合が多い。そこで、正弦波を進行方向に薄い方形板で多層近似して、フーリエ級数展開法を適用して、放射波も含めて基本導波モードの反射電力のより詳しい波長特性を求めた。その結果、1周期を4～6層にするだけでほぼ正弦波状周期構造導波路が充分実用に支障のない程度で近似できることが確認された。その場合、正弦波の振幅を方形溝のその1.21倍程度に高くすることによって、その方形溝と殆んど同じ波長特性が得られることも確認された⁽³⁾。

次に、各種の周期構造導波路の放射波の反射

電力が基本導波モード反射電力の主ローブの波長特性に及ぼす影響について詳しく解明している。すなわち、屈折率変調型周期構造光導波路では、1周期内の2つの層の等価屈折率の差が、Lamellar grating 型に比べて大きいため、波長が Bragg 波長から短波長側にずれるとすぐ大きな放射波電力のピークが現われ、基本導波モード反射電力の波長特性の右上りの傾斜が急になることが確認された。この点、Lamellar grating 型ではその屈折率差が小さいためか、放射波反射電力は充分小さく、傾斜はかなり緩やかとなり、短波長側で発生する放射波のピークも主ローブからずっと離れた波長で出現することが確認され、光 IC へのフィルタとしての応用には Lamellar grating 型の周期構造が有用と考えられる。当然、正弦波状の場合は方形溝の場合と殆んど同じ特性である⁽⁴⁾。

周期構造光導波路を光通信、光 IC において反射フィルタとして使用する場合、基本導波モードの高出力化、波長特性の平坦化、立上り、立下りの急峻化が問題となる。利用の多いファイバグレーティングは、前述のように屈折率変調型周期構造導波路であり、短波長側に発生する大きな放射波が無視できないため、早くからその抑制法について工夫されている。その方法としてファイバグレーティングのコア部と同様にクラッド部も周期的屈折率分布をもたせることで、クラッド部コア間の端点からの回折が弱く、放射波を抑制し波長特性が平坦となることが報告されている。本研究チームでは、この手

法を詳しい解析が容易でない光 IC 用方形断面屈折率変調型薄膜周期構造導波路に適用した結果、ファイバグレーティングの場合と同様な平坦な波長特性が確認され、平坦な特性のフィルタの設計に示唆を与えた⁽⁵⁾。

これまでの種々な形状の周期構造導波路における基本導波モード反射電力の主ローブの波長特性は放射波の影響により非対称性が右上がりであった。この場合の解析においては、有限長周期構造導波路の入力側に、1 周期内の 2 つの層の夫々の等価屈折率の大きい方の層と同じ一様導波路を接続していた。そこで、2 つの層の内等価屈折率の小さい方の層と同じ一様導波路と接続した場合について同様な解析を行った結果、主ローブの波長特性は前者に比べて全く反対称な右下りの特性を示すことが確認され、その発生メカニズムについて定性的な説明を試みている。その場合、屈折率変調型、Lamellar grating 型は夫々の形状が全く異なるが、1 周期内の 2 つの層を等価屈折率で置き換えれば全てに共通した説明ができることが確認され、より平坦な波長特性のフィルタの設計に一定の示唆を与えた⁽⁶⁾。

最後に、最近の光 IC デバイスとして注目を浴びているフォトニック結晶の解析に関しても、1 次元 Kerr 形非線形媒質内の電磁界を平面波表示して 2×2 行列法を適用した解析法によって、より複雑なフォトニック結晶デバイスの解明を試みている⁽⁷⁾。

【研究業績】

- (1) 宮本徳夫、百田美智子、安元清俊：Lamellar grating 型 3 次元周期構造光導波路（突起型）の数値解析、福岡大学工学集報、第75号、pp 25 41、2005。
- (2) 宮本徳夫、百田美智子、安元清俊：Lamellar grating 型 3 次元周期構造光導波路（埋込型）の数値解析、福岡大学工学集報、第76号、

pp .7 13、2006。

- (3) T. Miyamoto, M. Momoda and K. Yasumoto : Numerical Analysis on Lamellar Grating Type 3-D Periodic Optical Waveguide with Sinusoidal Surface using Fourier Series Expansion Method, Proc. of the 6-th Asia-Pacific Engineering research Forum on Microwaves and Electromagnetic Theory, pp.110-116, 2006, Shanghai, China.
- (4) T. Miyamoto, M. Momoda and K. Yasumoto: Behavior of Reflected Powers of Radiation Field in Shorter Wavelength Region in Various Kinds of Three Dimensional Optical Waveguides with Periodic Structure, Int. J. of Microwave and Optical Technology, vol.1, no.2, pp. 633-638, 2006.
- (5) M.Momoda, T. Miyamoto and K.Yasumoto: Flattening of Wavelength Characteristics of Reflected Dominant Guided Mode in Index-Modulation Type Periodic 3-D Optical Waveguide, 福岡大学工学集報、第77号、pp .15 24、2006 .
- (6) 百田美智子、宮本徳夫、安元清俊：周期構造光導波路における基本導波モード反射電力の波長特性に及ぼす入力側一様導波路の影響について、福岡大学工学集報、第80号、pp .27 34、2008。
- (7) 岡藤智史：Kerr 形非線形欠陥を有する層状フォトニック結晶における欠陥モードの解析、福岡大学工学集報、第79号、pp .11 16、2007。

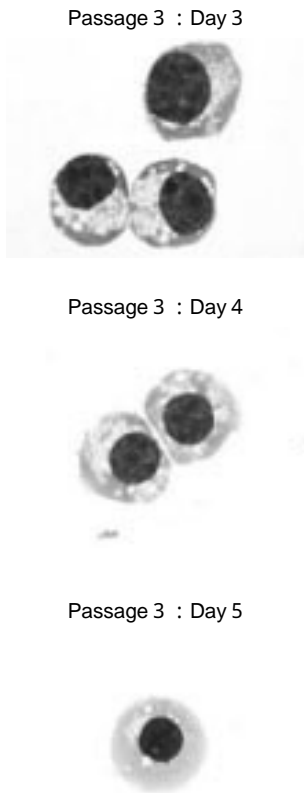
ラミンが7 pmol/mg ~ 10pmol/mg (中レベル) 検出された例は12例、10pmol/mg 以上 (高レベル) 検出された例は45例であった。チラミンが検出された例について、剖検所見および警察からの諸情報に基づき分類を行った。例数が少ないので統計的に判断できるものではないが、剖検例の中では心疾患13例中に高レベルが6例と目立っていた。また、剖検例の中で、精神疾患患者12例中に高レベルは5例であった。精神神経科病院の患者は、いずれも長期療養中であり、医師および患者に協力を得て毛髪を採取することができた。高レベルの割合は36例中12例 (33.3%) と、ボランティア群 (32例中6例・18.8%) に比べ、高レベルの割合がやや多かった。異常興奮の原因究明のために検査依頼を受けた8例のうち、高レベルは5例であった。統計的には言えないが、毛髪中チラミンの高レベルが、心疾患、精神疾患に占める割合が比較的高いことから、チラミンの存在あるいは代謝が疾病に何か影響しているように考えられた。

チラミンは、チーズなどの食物に含まれており、大量に摂取している可能性がある。しかし、ボランティアの約80%、剖検例の約70%では、チラミンは毛髪中に極めて微量しか含まれていない。従って、大部分の人では、チラミンが摂取されても速やかに代謝され、分解あるいは尿中に排泄されると考えられる。チラミンは、食物以外にも、必須アミノ酸のチロシンが脱炭酸酵素により代謝されて生体内で発生する。そして、チラミンはモノアミンオキシダーゼ (MAO) により速やかに代謝されて不活性化される。チラミンが毛髪中に高レベルで存在している原因は、微生物による汚染も完全に否定することはできないが、内因あるいは外因のチラミンが代謝されずに残り、体内に高濃度で存在していることが考えられる。MAO 遺伝子はX染色体上に存在しているが、その欠損症が報告されており、チラミンなどのアミンの代謝を妨

げ、精神状態に影響を与えることが報告されている。他にも、MAO、アミンについて多くの論文が発表されているが、ほとんどが脳、中枢神経系に関連したものである。本研究では、精神疾患の他に、心臓疾患にもチラミンが関わっているのではないかとヒントを得た。薬理学的には、チラミンは血圧上昇作用が知られており、抗うつ薬のMAO阻害剤の作用によりチラミンの血中濃度が上昇し、急激な血圧の上昇が起こると言われている。今後、さらに症例を増やし、分析、検討していく必要がある。また、個々の事例について、チラミンが蓄積される原因を探索する必要がある。

法医学の剖検では、死後長期経過した遺体の場合、血液、尿、臓器を採取できない場合も多い。毛髪のような死後変化に影響されにくい試料から、より多くの情報を得られるよう研究を重ねていきたい。



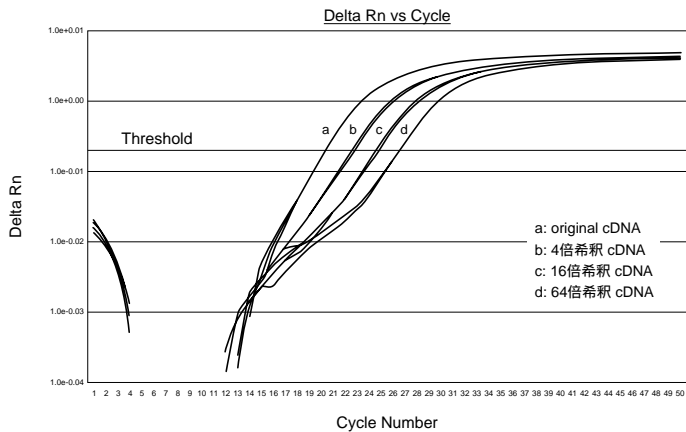


2. 赤血球膜蛋白発現の real time PCR 法による解析

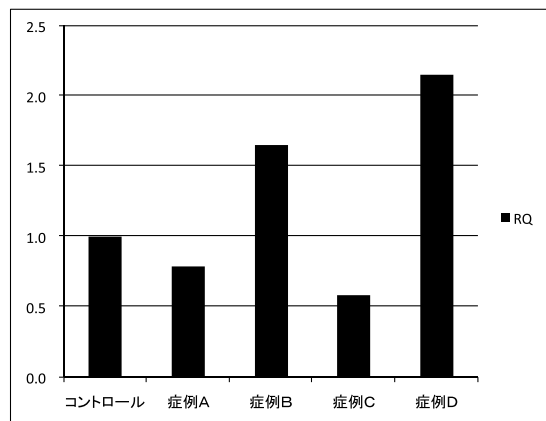
次に液体培養にて分化が確認された成熟赤芽球または網赤血球より RNA を抽出し、real-time PCR 法 (TaqMan プローブ法) により膜蛋白遺伝子発現を解析する手法について検討した。ABI GeneAmp5700を用い、TaqMan プローブは ABI 社 TaqMan Gene Expression Assays 中の ankyrin(Hs00220867_m 1)、band 3(Hs00175592_m 1)、protein 4 2(Hs00164445_m 1)を用い、内部コントロールを β アクチンとして各膜蛋白遺伝子の発現を比較 Ct 法によって分析した。図 2 a は培養細胞 RNA を 4 倍、16 倍、64 倍希釈し、real-time PCR 法によって ankyrin 発現を解析した例であり、膜蛋白遺伝子発現の定量的解析が可能であることが確認された。

図 2 Real-time PCR 法による ankyrin 発現解析

a) Real-time PCR 法の定量性確認 (ankyrin)



b) HS 患者の ankyrin 発現解析

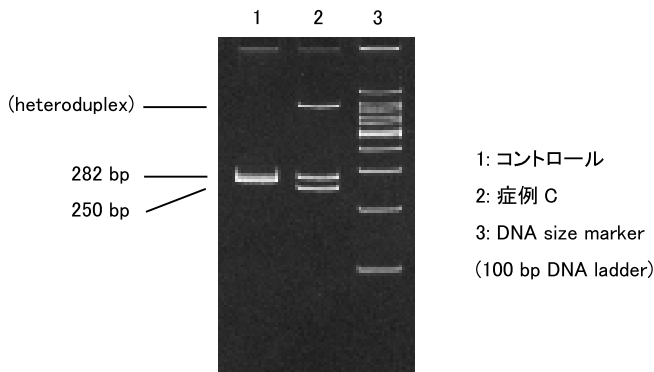
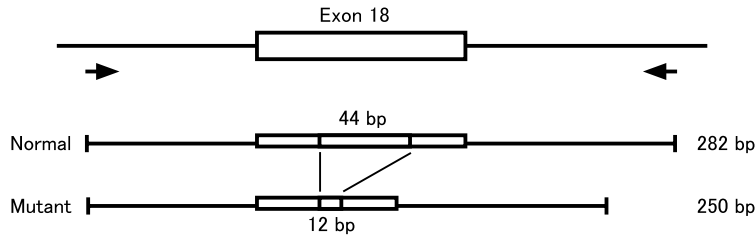


3 臨床例での解析

以上の検討成果を踏まえ、インフォームドコンセントが得られた遺伝性球状赤血球症 (HS) の患者について網赤血球または赤芽球液体培養を行って得られた培養赤芽球を用いて、real-time PCR 法による膜蛋白遺伝子発現の解析を行った。図 2 b に示すように、HS 患者 4 例のうち症例 C において ankyrin 遺伝子発現がコントロールの約 60% に低下しており、何らかの ankyrin 遺伝子異常の存在が示唆された。

そこで本症例について ankyrin 遺伝子 (ANK 1) の解析を試みた。Ankyrin 遺伝子の promo-

図3 Ankyrin 遺伝子エクソン18領域の PCR 増幅産物



(8% Acrylamide / TBE)

tor 領域、エクソン1よりエクソン42までの領域（両端の若干のイントロンを含む）を PCR 法により増幅し、直接 DNA シーケンシングにて解析した。エクソン18の領域を PCR 増幅したところ、図3に示すように症例 C では正常（282bp）に加えて250bp の異常増幅産物と heteroduplex と思われる異常バンドが認められ、この部位に遺伝子欠失の存在が疑われた。Direct sequencing にて変異の同定を試みたところ、本例ではエクソン18のコードン676-691の領域に44塩基欠失と12塩基挿入（ACAAGAAGGCCACG TTCCAGTGGCAGATGTGCTGATCAAACACG CTAGGTGACAGA）が認められ、症例 C は本変異のヘテロ接合例であることが判明した。この変異は現在までに報告の無い新しい変異であった。この塩基欠失と挿入の結果、変異アレルではエクソン18のコードン677が終始コードンとなるため、変異 mRNA はおそらく mRNA サーベランス（nonsense-mediated mRNA decay）

によって分解処理され、ankyrin 発現が低下するものと考えられた。この結果は real time PCR 法の解析結果と矛盾せず、real time PCR 法がこのような膜蛋白遺伝子発現低下のスクリーニング法として有用であることが示された。

本邦では ankyrin 遺伝子異常による遺伝性球状赤血球症は30%程度存在すると推定されているが、SDS-PAGE による膜蛋白分析では異常を検出するのが困難であり、全長160kb という巨大な遺伝子を解析しない限り確定診断することができない。今回検討した手法は、このような症例における膜蛋白遺伝子変異をスクリーニングする方法として有用であると考えられる。

【研究業績】

- 1) 先天性溶血性貧血。（特集 最新の遺伝子診断と治療）、日本臨床63：415-419、2005
- 2) 先天性溶血性貧血の診断と遺伝子解析。臨

床病理54 : 593 600、2006

- 3) Hereditary spherocytosis. Clinical Studies in Medical Biochemistry (3rd edition), Oxford University Press, pp.66-74, 2007
- 4) 赤血球の異常からみる病態究明～先天性溶血性貧血の検査診断～。第20回博多シンポジウムテキスト、pp.33 41、2007
- 5) Severe hyperbilirubinemia in a 10-year-old girl with a combined disorder of hereditary spherocytosis and Gilbert syndrome. Pediatrics International 49: 540-542, 2007
- 6) GapPCR 法による α サラセミアの遺伝子変異スクリーニング。臨床病理54 : 1095 1100、2006

